数学A1演習問題ヒントと略解(第4回)

1. $f(x,y)=e^x+y\cos x-y^2-1$ とおくと $f_x=e^x-y\sin x, f_y=\cos x-2y.$ $f(0,1)=0, f_y(0,1)=-1\neq 0$ より陰関数定理から x=0 のとき y=1 を満たす $y=\phi(x)$ が唯一つ存在する.また $\phi'(x)=-\frac{f_x(x,y)}{f_y(x,y)}$ より $\phi'(0)=-\frac{f_x(0,1)}{f_y(0,1)}=1$ であり,

更に $y = \phi(x)$ は x の関数であることに注意すると

$$\phi''(x) = -\frac{d}{dx} \frac{f_x(x,y)}{f_y(x,y)}$$

$$= -\frac{\frac{d}{dx} (e^x - y \sin x) \cdot (\cos x - 2y) - (e^x - y \sin x) \frac{d}{dx} (\cos x - 2y)}{(\cos x - 2y)^2}$$

$$= -\frac{(e^x - y' \sin x - y \cos x) (\cos x - 2y) - (e^x - y \sin x) (-\sin x - 2y')}{(\cos x - 2y)^2}$$

x = 0 のとき $y = \phi(0) = 1, y' = \phi'(0) = 1$ とあわせると $\phi''(0) = -2$

2. $f(x,y)=x^4-2x^2y+xy^3-y^2-1$ とおくと $f_x=4x^3-4xy+y^3, f_y=-2x^2+3xy^2-2y$. $f(1,2)=0, f_y(1,2)=6\neq 0$ より陰関数定理から x=1 のとき y=2 を満たす $y=\phi(x)$ が唯一つ存在する.また $\phi'(x)=-\frac{f_x(x,y)}{f_y(x,y)}$ より $\phi'(0)=-\frac{f_x(1,2)}{f_y(1,2)}=-\frac{2}{3}$ であり,

更に $y=\phi(x)$ は x の関数であることに注意して計算すると $\phi''(0)=rac{10}{27}$.

3. テイラーの定理より $t \to 0$ のとき $\log(\cos t) = -\frac{t^2}{2} - \frac{t^4}{12} + o(t^4)$ (第 2 回問 4(b) 参照)したがって $(x+y)^2 - (x+y)^4$

$$f(x,y) = -\frac{(x+y)^2}{2} - \frac{(x+y)^4}{12} + (x,y)$$
 の 5 次以上の項)

4. テイラーの定理より $t\to 0$ のとき $\cos t=1-\frac{t^2}{2!}+\frac{t^4}{4!}+o(t^4),\,\sin t=t-\frac{t^3}{3!}+o(t^3)$ となることに注意すると

$$\begin{split} f(x,y) &= \Big\{1 - \frac{(x+y)^2}{2} + \frac{(x+y)^4}{24} + (x,y \ \mathfrak{O} \ 5 \ \text{次以上の項}\)\Big\} \Big\{x - \frac{x^3}{6} + (x \ \mathfrak{O} \ 5 \ \text{次以上の項}\)\Big\} \\ &= x - \frac{2}{3}x^3 - x^2y - \frac{1}{2}xy^2 + (x,y \ \mathfrak{O} \ 5 \ \text{次以上の項}\) \end{split}$$

5. テイラーの定理より $t \to 0$ のとき $\log(1+t) = t - \frac{t^2}{2} + \frac{t^3}{3} + o(t^3)$ となることに注意すると

$$\begin{split} f(x,y) &= xy\Big\{(x+ay^2) - \frac{(x+ay^2)^2}{2} + \frac{(x+ay^2)^3}{3}\Big\} + (x,y \ \mathfrak{O} \ 6 \ 次以上の項 \) \\ &= x^2y - \frac{1}{2}x^3y + axy^3 + \frac{1}{3}x^4y - ax^2y^3 + (x,y \ \mathfrak{O} \ 6 \ 次以上の項 \) \end{split}$$

また展開の一意性より x^2y^3 の項の係数を考えると $-a=\frac{1}{5!} C_2 \frac{\partial^5 f}{\partial x^2 \partial y^3}(0,0)$ が成り立つので $\frac{\partial^5 f}{\partial x^2 \partial y^3}(0,0)=1$ とすると $a=-\frac{1}{12}$.

6. テイラーの定理より $t\to 0$ のとき $\sqrt{1+t}=1+\frac{t}{2}-\frac{t^2}{8}+\frac{t^3}{16}+o(t^3),\ \sin t=t-\frac{t^3}{6}+o(t^3)$ となることに注意すると

$$f(x,y) = 1 + \frac{1}{2} \left\{ (x+y) - \frac{1}{6} (x+y)^3 + \dots \right\} - \frac{1}{8} \left\{ (x+y) - \frac{1}{6} (x+y)^3 + \dots \right\}^2 + \frac{1}{16} \left\{ (x+y) - \frac{1}{6} (x+y)^3 + \dots \right\}^3 + \dots$$

$$xy^2$$
 の項に着目すると $\Big(rac{1}{2}\cdot(-rac{1}{6})\cdot3+rac{1}{16}\cdot3\Big)xy^2=-rac{1}{16}xy^2$